

セカンドハウス ～夫婦の趣味のスポーツカフェ～

水戸工業高等学校 3年 高橋 淳志

コンセプト

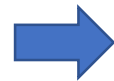
現在、少子高齢化の影響で地方から都市部へと人口が流れたことにより、過疎化地域における人口の減少、地方衰退、耕作放棄地の増大や食品ロスといった問題が起こっています。そこで、ある夫婦がお互いの趣味を活かして社会問題を解決することができる家を考えました。

図面の設定

- ・ 50代の夫婦
- ・ 女性の趣味：料理と農業
男性の趣味：スポーツ観戦と農業

情報の収集

問題：①過疎化地域における人口の減少、
地方衰退、耕作放棄地の増大



地域経済の衰退につながってしまう

問題：②食品ロス



まだ食べられる食材を捨てることにより食品を廃棄する過程で運搬や焼却の際に二酸化炭素を排出

目的

(発想の方向性)

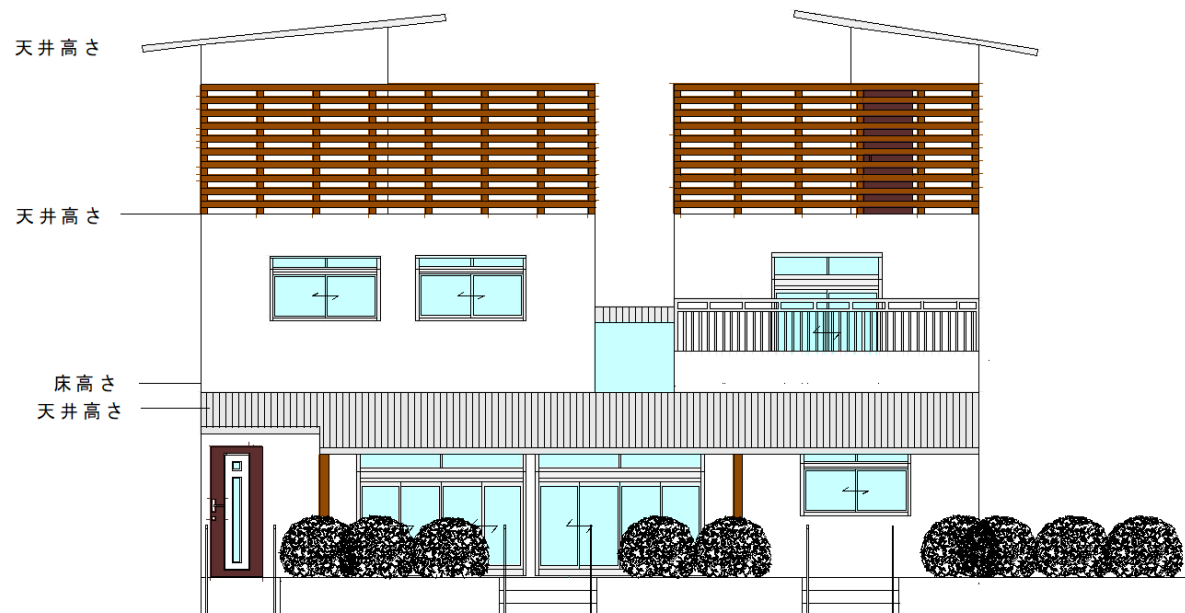
耕作放棄地



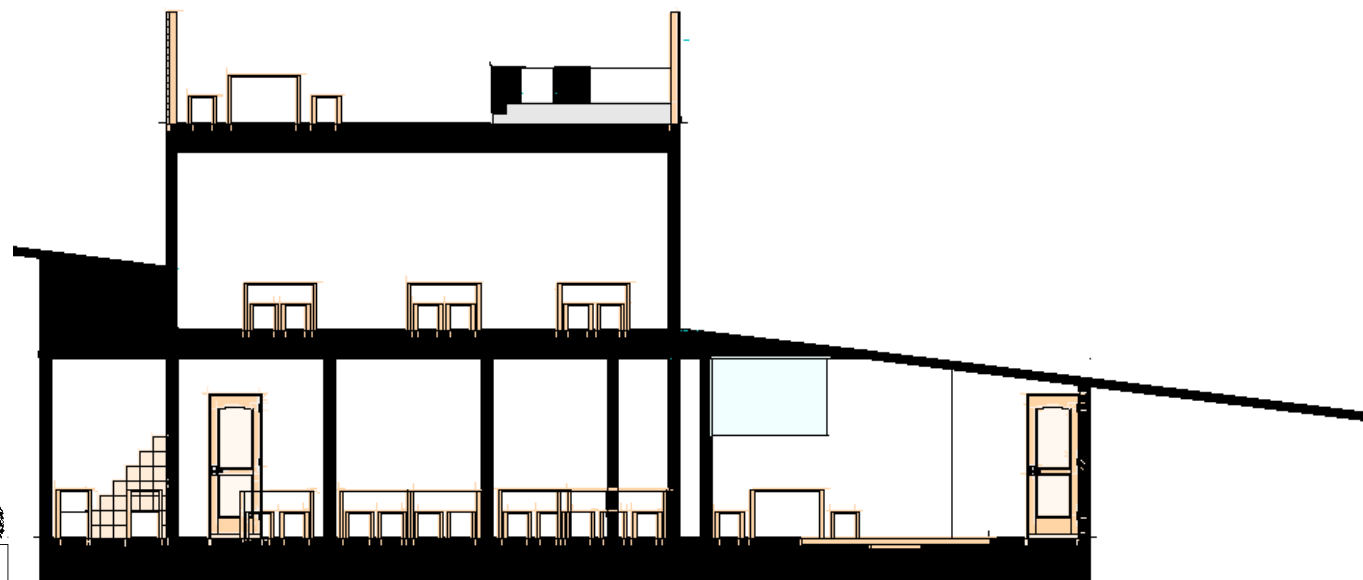
家庭菜園として利用



まだ食べられる食材（野菜）を集めて調理し、提供する（食品ロスの解消）



南立面図

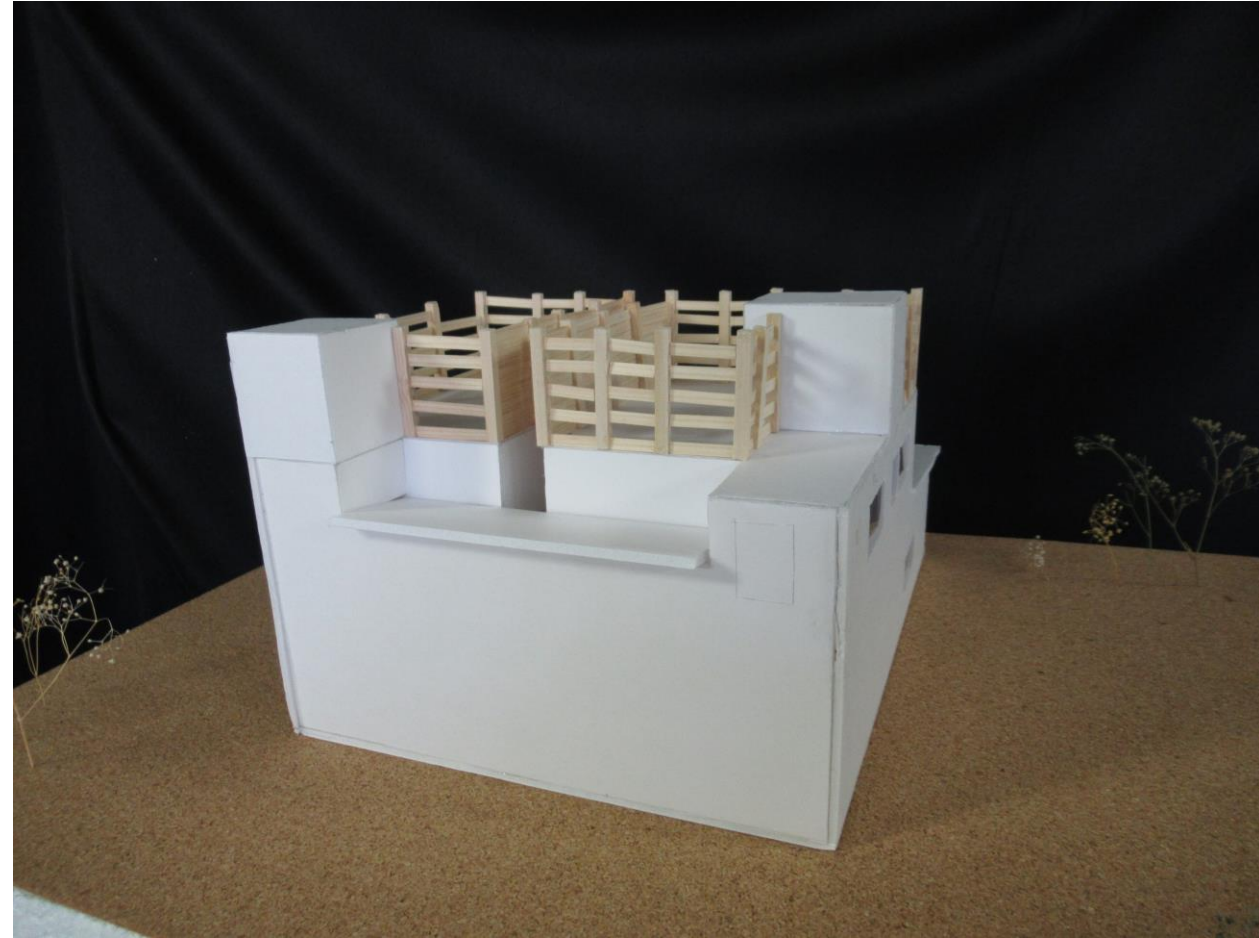
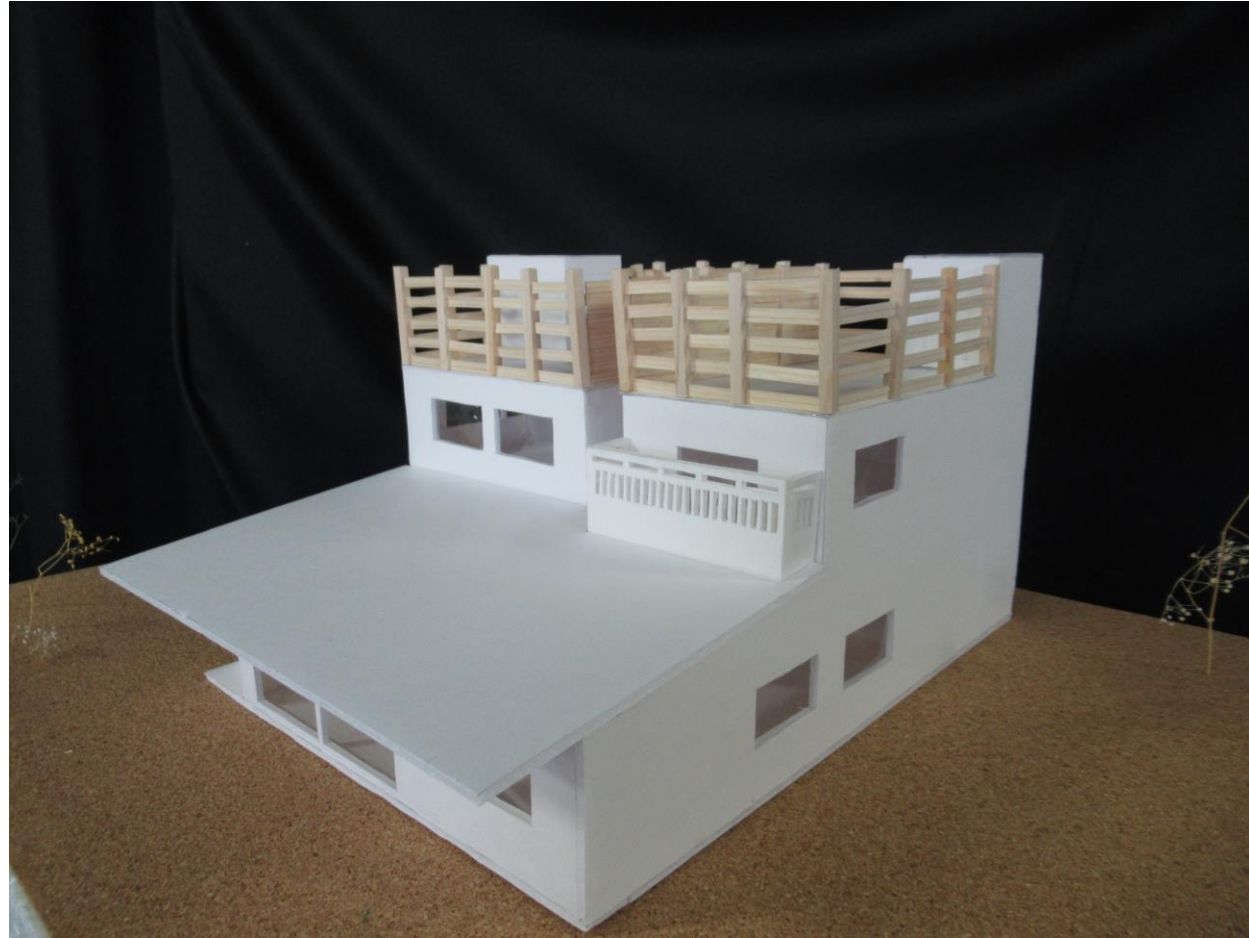


A-A断面図

特徴

- 1階と左側の2階と屋上の地域の人と交流するゾーンと右側の2階と屋上のプライベートを守るゾーンを分けることによって夫婦が交流を楽しみながらもプライベートを守ることができます。
- 屋根の代わりに天窗を設置することによって、日光をより多く室内に取り入れることができるため、心も体も健康な生活を送ることができます。

模型写真



仮説

- 建物や耕作放棄地を利用する人が増えることにより人と人のつながりの輪が広がる。
- 建物を建てた地域が活性化することで、地方経済の衰退の改善や地産地消の促進につながる

まとめ

この家に住むことによって

夫婦のプライベートを守りながら
地域の活性化を促すことができる

人口の減少の抑制

地方経済の衰退の抑制

地産地消の促進



過疎化地域における人口の減少
食品ロス

参考文献

- ・農林水産省

食品ロスの現状を考える

- ・日本財団ジャーナル

世界に捨てられる食べ物の量、年間25トン。食品ロスを減らすためにできること。

- ・SDGsコンパス

日本の社会課題一覧をテーマ別（人口、社会、福祉、地域、子供、環境、食）に解説

- ・総務省

地域・地方の現状と課題